

2015年度奨学候補生現地(インドネシア)選考会 実施報告書

- 【実施日】 2014年9月27日(土) 9:00～
【会場】 インドネシア・ジャカルタ市 SARI PAN PACIFIC HOTEL
【主催】 一般財団法人 共立国際交流奨学財団
【現地運営団体】 COACH



前列左から：VERAWATI実行副委員長、大塚選考委員長、菊川理事長、石塚実行副委員長
後列左から：選考会採用者2名 Maida Linar Caniago、Clara Marolyn

〈総評〉

当財団ではインドネシアで、日本に留学する為に日本語を勉強していて、2015 年 4 月から日本の日本語学校に進学を予定しているインドネシアの学生を対象とし、2014 年 9 月 27 日(土)にインドネシア・ジャカルタ市で、奨学候補生現地選考会を開催いたしました。

応募者数 14 名のうち 2 名を奨学候補生として採用いたしました。

選考会では、参加者にグループ面接をし、一人一人に日本留学を希望する理由等様々な質問をし、選考委員 2 名による審査の結果、奨学候補生 2 名を決定いたしました。

奨学候補生 2 名には、2015 年 4 月から 2016 年 3 月までの 1 年間、日本で月額 6 万円の奨学金(総額 72 万円)を支給します。

2015 年度奨学候補生として採用された学生が、無事に 2015 年 4 月 1 日に日本の日本語学校に入学した時に、充実した留学生活の修学支援をすることを楽しみにしています。

〈実施報告〉

■ 選考会

09 : 00～09 : 50	A グループ選考会面接
09 : 50～10 : 40	B グループ選考会面接



選考会の様子

■ 授与式

11 : 00～	2015 年度 奨学候補生採用証 授与式
----------	----------------------

式次第

- 一、開会の辞
- 一、理事長挨拶
- 一、選考委員長講評
- 一、証書授与
- 一、閉会の辞



菊川理事長挨拶

一般財団法人 共立国際交流奨学財団
理事長



大塚選考委員長講評

一般財団法人 共立国際交流奨学財団
奨学金選考委員



採用者 2 名に証書の授与

【採用者】 (株)共立メンテナンス奨学基金奨学金 (月額 60,000 円×12 ヶ月)

氏名	学校名
MAIDA LINAR CANIAGO	JIA 外国語大学
CLARA MAROLYN	ビナ・ヌサンタラ大学



講 評

選考委員長 大塚 博

一般財団法人 共立国際交流奨学財団 奨学金選考委員
元文化服装学院 学務部長

インドネシアの日本語学校留学希望者を対象に、初めての奨学候補生選考会がジャカルタで実施されました。

出席者 11 名はいずれも日々勉学に励み、あるいは仕事に従事しながら、日本語留学を実現するべく、日本語学習に努力する若者たちでした。

かれらの「夢」実現の支援を行ない、将来インドネシアと日本の交流に寄与できる人材を育てることが本選考会の目的ですが、今回の採用枠はわずか 2 名という狭き門でした。

面接ではいずれの応募者も、日本語学校留学と将来の進路の希望、家族や周囲の方たちの支援などを熱心に語ってくれました。日本語の既習期間は数ヶ月程度から、日本での研修生経験を含め 5 年以上の応募者もいて、かなりのバラツキがあることを実感しました。しかし、日本語留学ののち、更に大学や専門学校で、日本料理やアニメ、まんが、ポップカルチャー、IT 技術、日本語の指導など、具体的な進路、方向をもつ応募者が多く、このような日本文化を通して、インドネシアの若者が日本に興味をもっていることも実感でき、大変嬉しく、また頼もしく思いました。

今回採用された 2 名は、いずれも日本語留学の目的、将来の計画をしっかりともち、日々日本語学習に意欲的に取り組んでいて、その成果を感じることもできる方たちでした。ふたりが日本でさらに大きな実りをあげ、将来はインドネシア、日本両国の交流に活躍できる人材となることを心から期待し、楽しみにしています。今回、残念ながら選考にもれた応募者の皆さんも、さらに日本語習得に意欲的に取り組み、次の機会に挑戦してくれることを期待しています。また、このような留学希望者支援事業が継続し、ますます盛んになることを心から願ってやみません。



一般財団法人 共立国際交流奨学財団

所在地：〒101-0021

東京都千代田区外神田 2 丁目 18 番 8 号

T E L : 03-5295-0205

F A X : 03-5295-0206

U R L : <http://www.kif-org.com>

